赤ちゃん医学から生まれた

# STICK
（スティック）

## 取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は首がすわってから（生後4月から）、生後36月（体重15kg以下）までの乳幼児一人用ベビーカーです。

※ここでいう生後4月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生児の体重が2.5kg以上を満たし、4月を経過した乳児をいう。

SG安全基準A形

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。

また、お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

09-08

599-8N01

## もくじ

# はじめに

## ご使用前に

**赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。**

**赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。**
①常に赤ちゃんの**様子に気を付け、連続使用は避けましょう。**
②赤ちゃんに**直射日光が当たらないように注意**しましょう。大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
③騒音や浮遊粉塵の多い人込みは避けましょう。
④段差の通過は出来るだけ静かに、**振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。**

## SG基準について

・ＳＧマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。（この製品は、SG安全基準A形合格品です。）

| | |
|---|---|
| 適　用　範　囲 | この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。 |
| 形　式　の　分　類 | **A形** |
| 使　用　範　囲 | 生後4月から生後36月まで |
| 望ましい連続使用時間 | 寝かせた姿勢：2時間以内　　座らせた姿勢：1時間以内 |
| 背　も　た　れ　角　度 | 130°以上 |
| 車　輪　の　外　径 | 115mm以上 |

## 本書の表示について

・「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

| 表　示 | 表　示　の　内　容 |
|---|---|
| ⚠ 警 告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ 注 意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 |
| ⃠ 禁 止 | 絶対してはいけない内容です。 |



## ご使用上の注意

**・お子さまの保護者以外は操作しないでください。**
**・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。**

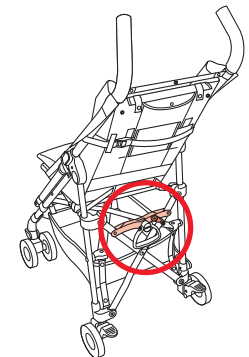
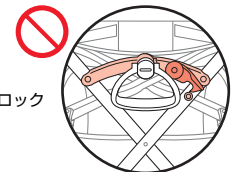
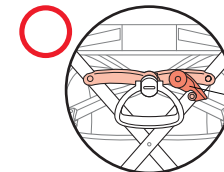
| ⚠ 警 告 | ・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
|---|---|

**お子さまが落ちけがをするおそれがあります。**

必ず腰ベルト、肩ベルト、股ベルトを締めて使用すること。

腰ベルトや肩ベルトはお子さまの体格に合わせて調節すること。
腰ベルトや肩ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

**ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。**

使用前は必ず折りたたみ防止の固定装置がかかっていることを確認する。

**バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒する危険があります。**

お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げない。

（次ページに続く）

（前ページからの続き）

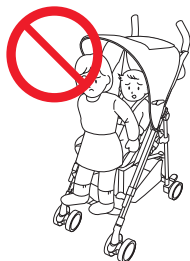
**⚠警 告**　・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

### 坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒し、お子さまがけがをするおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。（構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。）

お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れない。

### ベビーカーが転倒してお子さまが落ちけがをするおそれがあります。

二人のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。
また、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけない。

階段やエスカレーターなど段差のあるところで使用しない。

### お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、お子さまの体格に合わせて調節してください。

### 路面の影響により、ベビーカー内の温度が高くなり、お子さまが体調を損なうおそれがあります。

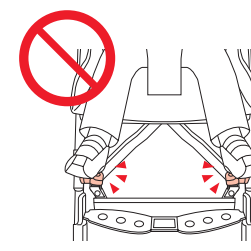
夏季などの晴天日中は、長時間の使用は避ける。



### 可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。

### ベビーカーが破損し、お子さまやご使用者さまがけがをするおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。

ステップ以外の部分にお子さまの足を乗せさせない。

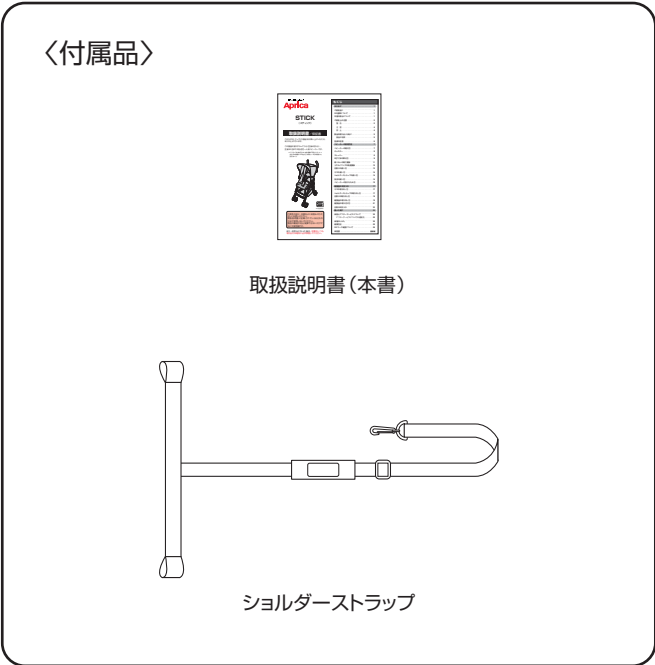
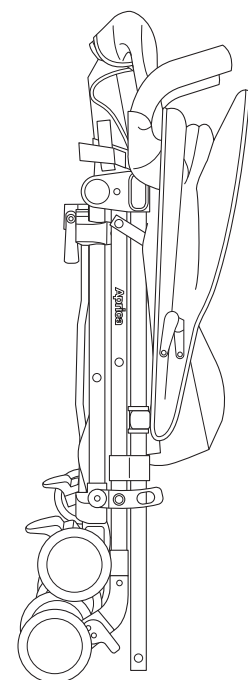
**⚠注 意**　・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- 取扱説明書を読まれていない方や、お子さまが操作された場合に思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ２台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- お子さまにベビーカーを操作させない。
- 体重15kgを超えるお子さまを乗せない。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方（時速約4キロメートル位の速さ）で押す。
- 路面の状態、構造・機能上、耐久性などから、ストッパーを過信しない。構造上、自動車のパーキングブレーキのような安全なものではありません。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。可動部や回転部に砂などが入り開閉できなくなります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- 踏切では、線路に車輪がとられないように注意する。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- そのほか、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

**🚫禁 止**　・絶対してはいけない内容です。

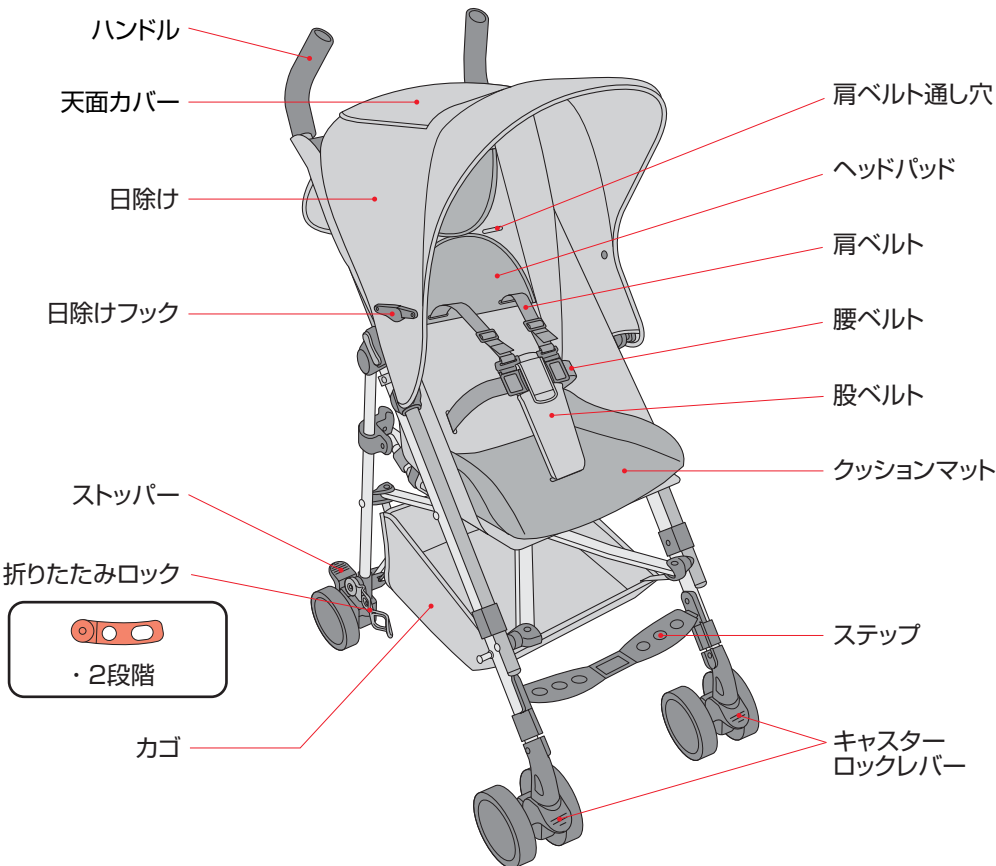
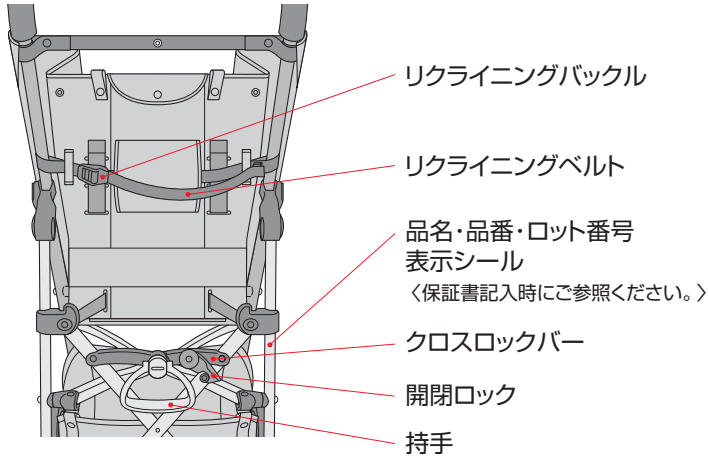
- 当社サービス員以外の分解・組立・改造。
- シートをはずした状態での使用。
- 保護者が、ベビーカーに腰を掛けること。
- 急激に力を加えたり、落下させた後の使用。
- ネジやナットなどをはずしての使用。
- 荷物などの運搬のための使用。
- お子さまの遊び道具としての使用。
- そのほか、お子さまを乗せる以外の目的での使用。

# 製品を取り出した時に

・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または当社サービス係までご連絡ください。（P25参照）

・ベビーカーを開く時はP7を参照してください。

## 製品の特徴

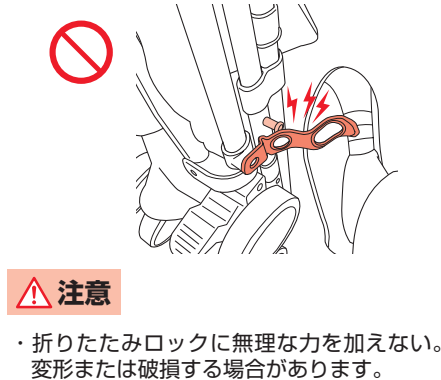
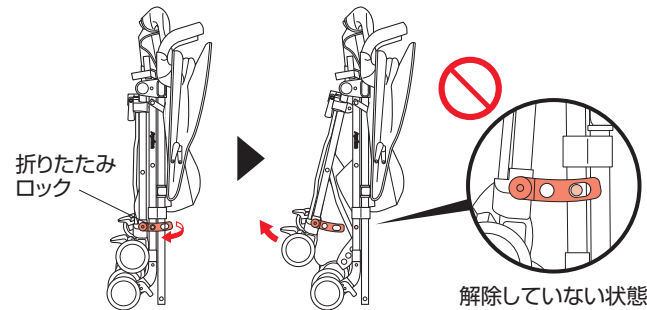
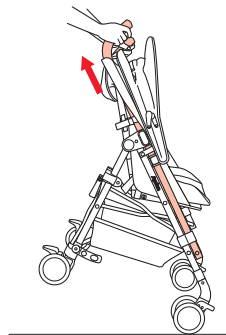
・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
・前後左右折りたたみ方式です。
・前輪はキャスター付です。
・ハンドルは背面側固定式です。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。

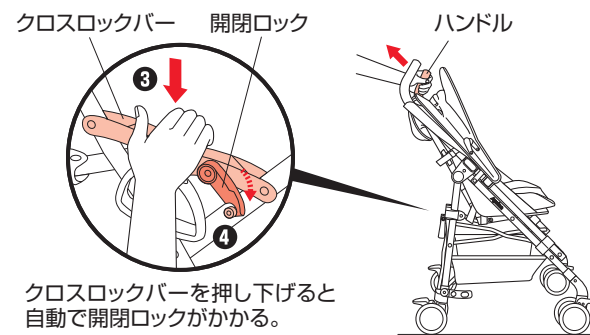
# 各部の名称

**〈背もたれ背面〉**

# ベビーカーの使用方法

## ベビーカーの開き方

⚠警告
・お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

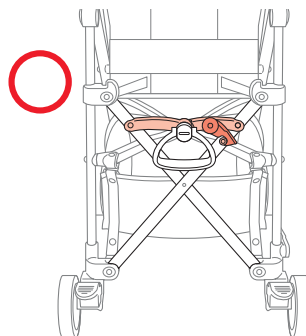
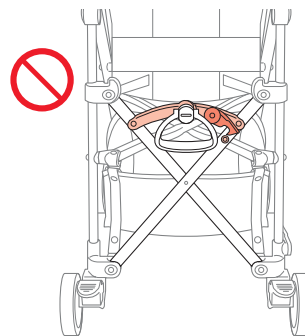
❶折りたたみロックを解除する。

⚠注意
・折りたたみロックに無理な力を加えない。
変形または破損する場合があります。

❷両方のハンドルを持ち、
引き上げる。

❸ハンドルを引き上げながらクロスロックバーを押し下げる。
❹開閉ロックが掛かっていることを確認する。

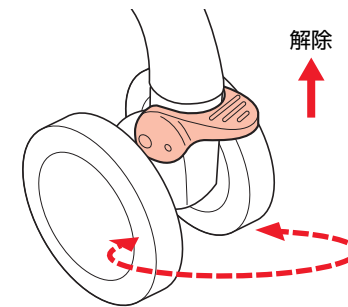
クロスロックバーを押し下げると
自動で開閉ロックがかかる。

⚠警告

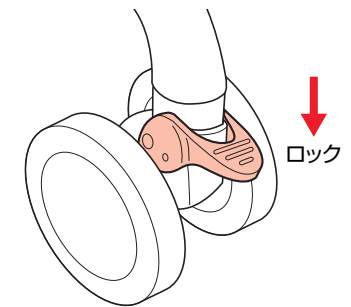
・開閉ロックが完全にかからない時はもう一度、❸から操作を行ってください。

・使用する前に開閉ロックがかかっていることを必ず確認する。急に折りたたまれるおそれがあります。

開閉ロックした状態

ロックしていない状態

## キャスター

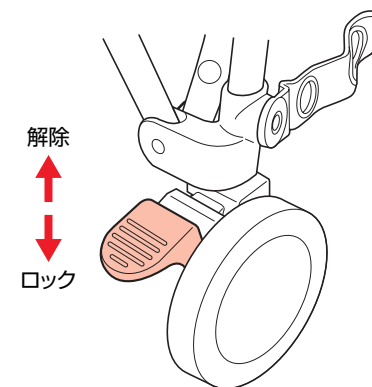
⚠警告
・凸凹道、坂道、傾斜地などでの走行には、キャスターを左右共ロックする。
キャスターの向きにより車輪が回転せず、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落ちけがをするおそれがあります。

〈キャスター解除して使用する場合〉(左右)

●前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。

〈キャスターロックして使用する場合〉(左右)

●凸凹道、坂道、傾斜地などで適しています。

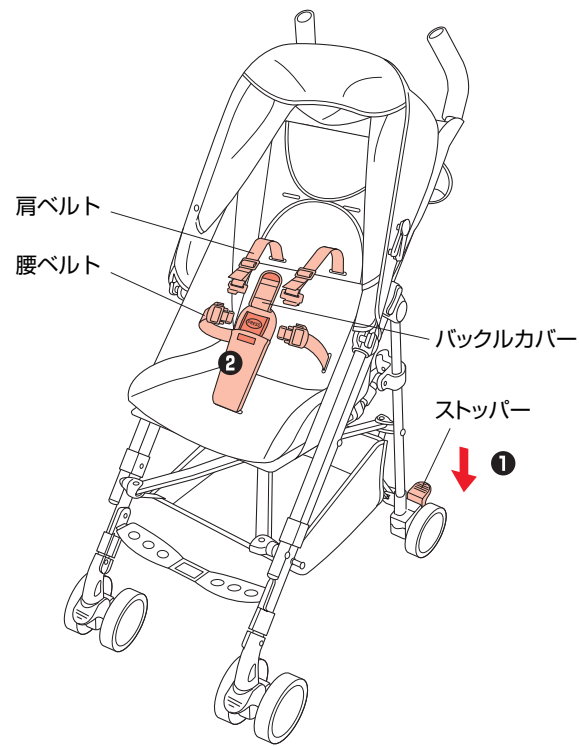
アドバイス
・ベビーカーを折りたたむ時は、ロックする。

## ストッパー

⚠警告
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。
構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。

●お子さまを乗せていない時に、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックします。
(お子さまを乗せている時はベビーカーから離れないでください。)

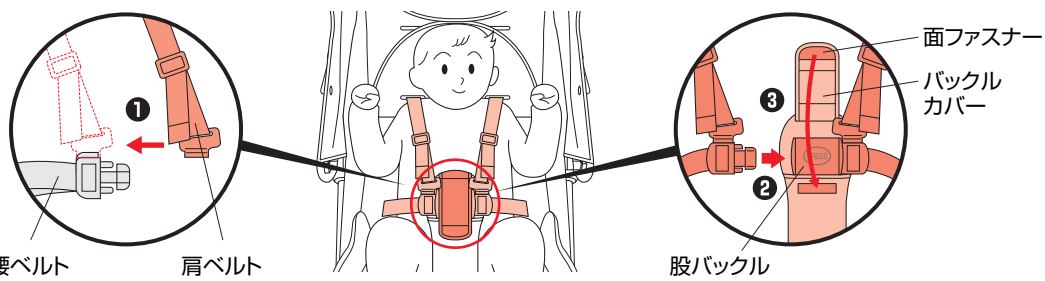
# お子さまの乗せ方

⚠注意
・可動部でお子さまやご使用者さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをなされないよう、ご注意ください。
誤った取扱いや不注意により思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

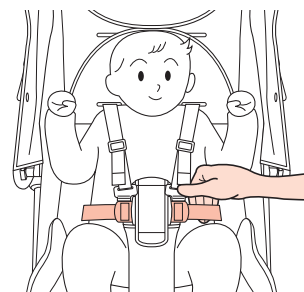
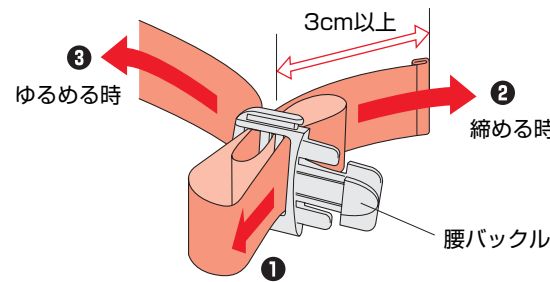
## 準 備

❶ストッパーをロックする。(左右)
❷肩・腰ベルトを外す。
・バックルカバーの面ファスナーを外し、股ベルトの「PRESS」部を押して腰ベルト・肩ベルトを外す。

(リクライニングの角度調節 P12参照)

## 乗せ方

### 〈肩・腰ベルトをとめる〉

❶肩ベルトを腰ベルトに差し込む。❷腰ベルトを股バックルに差し込む。
❸バックルカバーの面ファスナーをとめる。

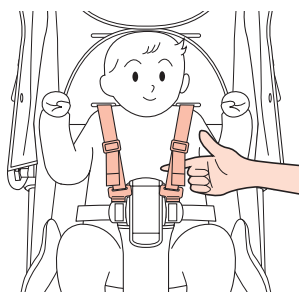
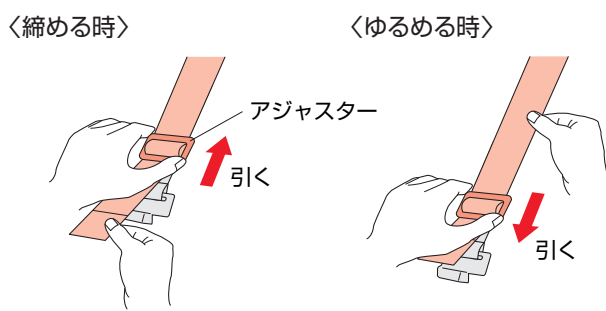
⚠警告
・肩ベルトをフリーにさせない。肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用してください。
肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。

### 〈腰ベルトの調節〉

❶調節する分の長さを引き出し、締める時は❷の方向に引く。ゆるめる時は❸の方向に引く。

●腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

⚠警告
・腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。
腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

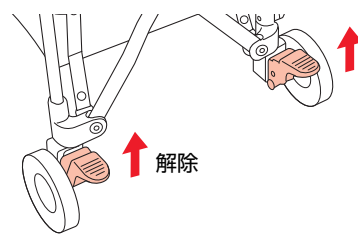
⚠注意
・腰ベルトの末端の出しろ(⇔部分)は必ず3cm以上残す。
・腰バックルは取り外しできません。

### 〈肩ベルトの調節〉

●アジャスターを引き調節する。

●肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

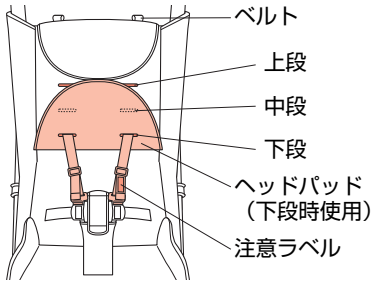
⚠警告
・肩ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり転倒や落下のおそれがあります。
肩ベルトはお子さまの成長に合わせて調節してください。

⚠注意
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルトを調節してください。
・肩ベルトは取り外しできません。

### 〈ストッパーを解除する〉

# 肩ベルトの高さ調節

⚠注意
・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。
・ヘッドパッドは下段使用時のみご使用ください。

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。

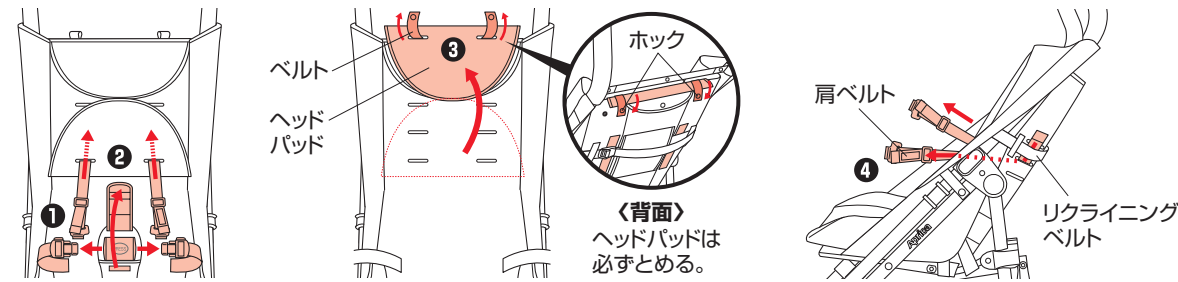
**〈肩ベルト位置の目安〉**

・肩ベルトの位置は3段階に調節できます。

| 月齢（体格）の目安 | 肩ベルト通し穴の位置 |
|---|---|
| 24月～36月以内 | 上　段 |
| 7月～30月 | 中　段 |
| 4月～7月 | 下　段 |

アドバイス
・日除け後部のホックを取り外して行ってください。（P18参照）
・肩ベルトは注意ラベル側を表にして使用してください。

## 中・上段を使用する時

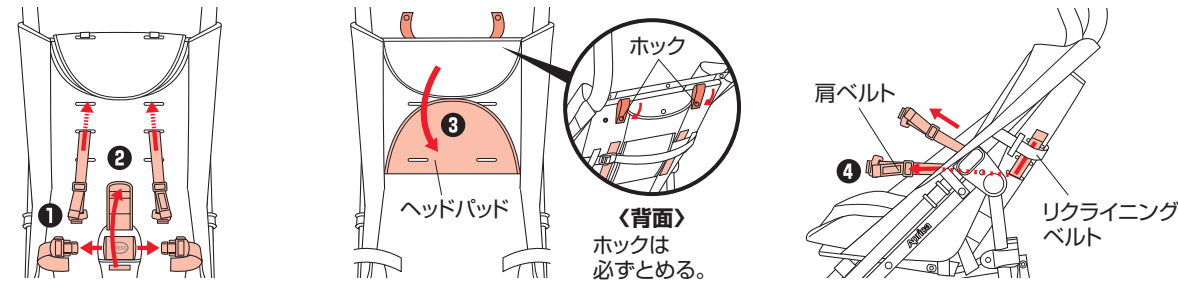
❶肩・腰ベルトを外す。（P9参照）❷肩ベルトを背もたれ背面に引き抜く。
❸ヘッドパッドを折り、ベルトを穴に通し、ホックを背面でとめる。❹肩ベルトを使用する段に通す。

**〈背面〉**
ヘッドパッドは
必ずとめる。



⚠注意　・肩ベルトはリクライニングベルトの内側を通すこと。

## 下段を使用する時

❶肩・腰ベルトを外す。❷肩ベルトを背もたれ背面に引き抜く。❸ホックを外し、ヘッドパッドを
おろした後、ホックを背面でとめる。❹肩ベルトを下段、ヘッドパッドの通し穴に通す。

**〈背面〉**
ホックは
必ずとめる。

⚠注意　・肩ベルトはリクライニングベルトの内側を通すこと。

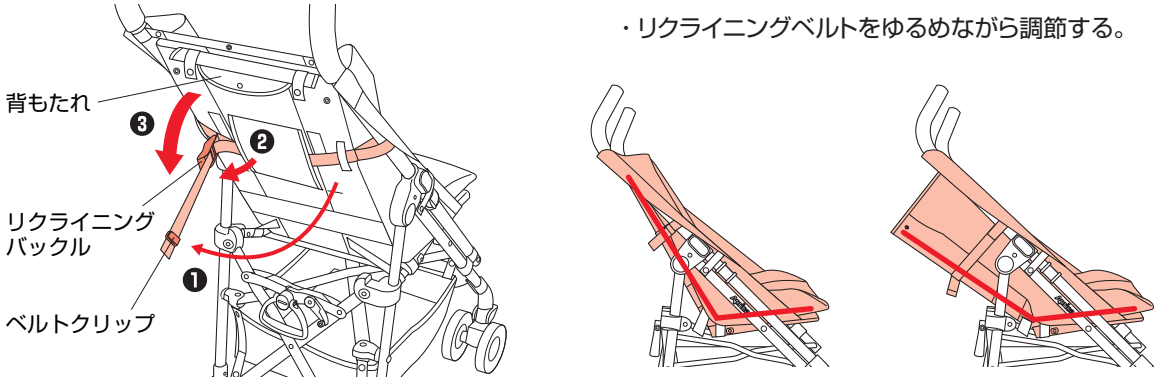
# リクライニングの角度調節

⚠警告
・お子さまを乗せたままリクライニングを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの調節後は、肩・腰ベルトの長さを調節する。

⚠注意
・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、急に角度が変わらないよう注意する。
・お子さまを乗せたままリクライニングを倒す時は、お子さまの体重を支える。
・リクライニングベルトに荷物などを吊さない。

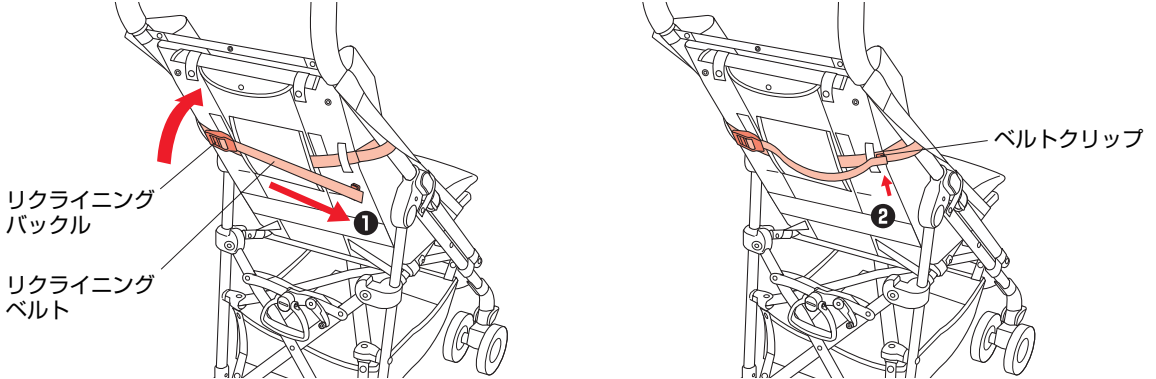
## 倒す時

・お子さまを乗せた状態でリクライニングを倒す時は、肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングを調節する時は、お子さまの体を支える。

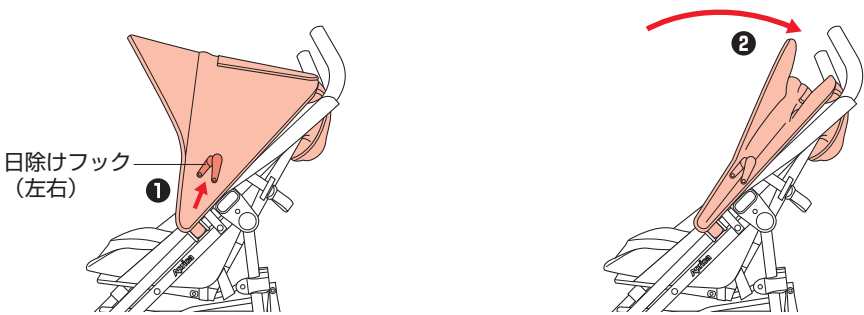
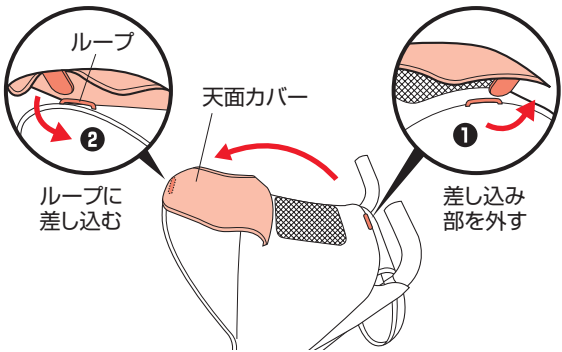
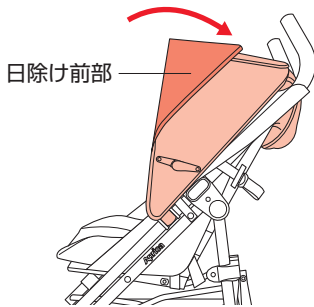
❶ベルトクリップを外す。❷リクライニングバックルを起こす。❸背もたれを倒す。

## 起こす時

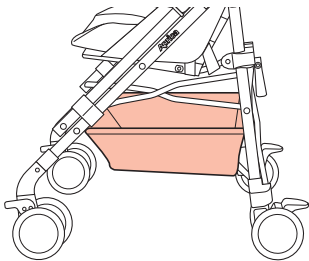
❶リクライニングバックルを持ち上げ、ベルトを引く。❷余ったリクライニングベルトをクリップでとめる。

# 日除けの使い方

## 開き方

❶日除けを前方に開く。❷日除けフックをロックする。（左右）

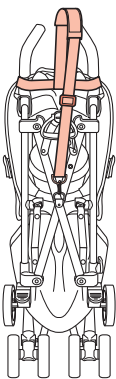
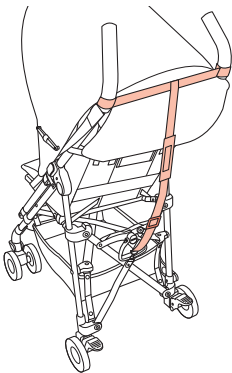
## 閉じ方

❶日除けフックを折りたたむ。（左右）❷日除けを閉じる。

**〈天面カバーの使い方〉**

**〈日除け前部の折りたたみ方〉**

# カゴの使い方

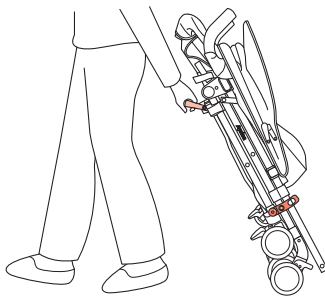
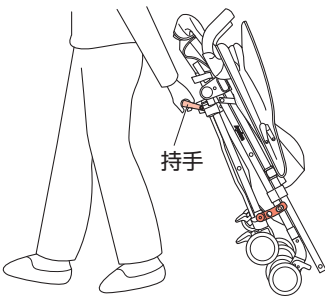
⚠注意
・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量2.5kg以上の荷物を入れない。

●カゴの横側から荷物の出し入れをします。

アドバイス
・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が
加わるように載せてください。

# ショルダーストラップの使い方

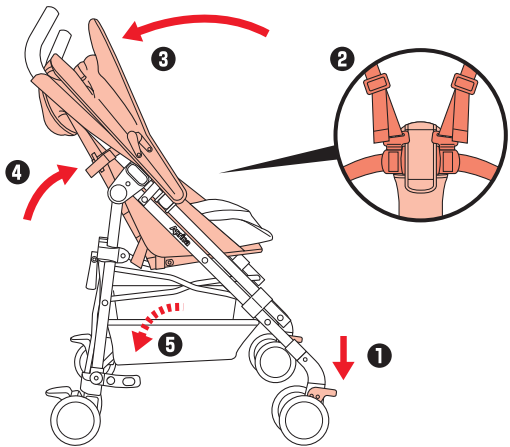
⚠注意
・車体に付着している油・泥・砂を拭き取ってからお使いください。
衣類に付着するおそれがあります。

・車体を折りたたんだ時に、
肩にさげて持ち運ぶことが
できます。
・アジャスターで長さが調節
できます。

・開いた状態でベルトが
長い場合は調節してく
ださい。

# 持手の使い方

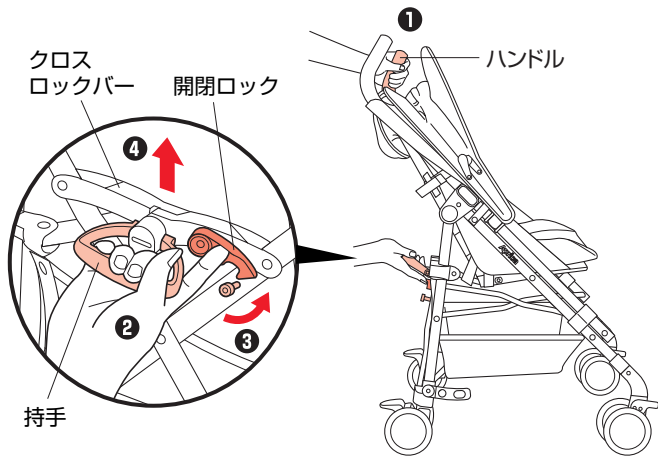
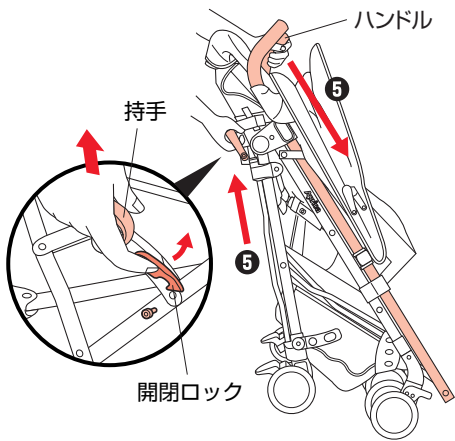
⚠注意
・折りたたみロックをかけてお使いください。

・車体を折りたたんで移動させ
ることができます。
・車体を少し倒し、持手を持ち、
前輪を使い移動させます。

# ベビーカーの折りたたみ方

⚠警告　・お子さまが触れた状態ではベビーカーを開閉しない。
可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

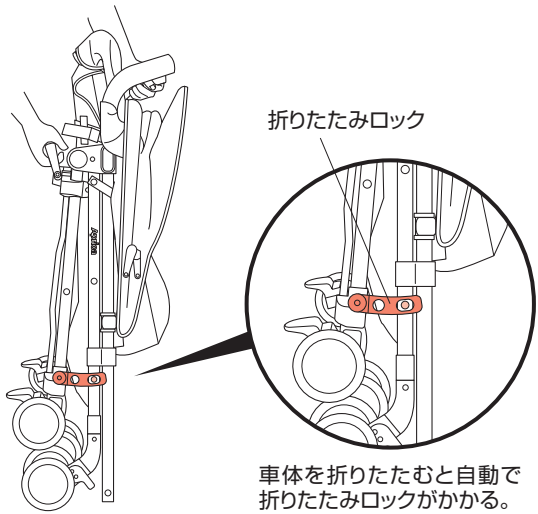
## 折りたたむ前に

❶前輪キャスターをロックする。（左右）
❷肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込み、バックルカバーの面ファスナーをとめる。
（P9「肩・腰ベルトをとめる」参照）
❸日除けを閉じる。
❹リクライニングを起こす。
❺カゴから荷物を取り出す。

〈お願い〉
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2〜3回繰り返して操作してください。

## 折りたたむ時

❶ハンドルを持つ。
❷持手を図のように逆手で持つ。
❸人差し指で開閉ロックを押し上げてロックを解除しながら、
❹持手を矢印の方向に引き上げる。


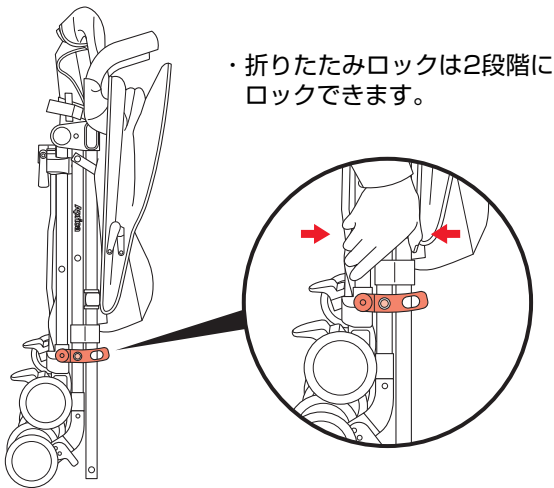

❺開閉ロックが解除された状態で、ハンドルを図の矢印の方向に押し下げながら、持手をさらに引き上げる。

〈お願い〉・開閉ロックが固定されてしまった場合は、クロスロックバーを最後まで押し下げ、もう一度はじめからやり直してください。

⚠注意　・開閉ロックを解除せずに無理に持手を引き上げると、開閉ロックが変形または破損する場合があります。



❻折りたたみロックが掛かっていることを確認する。

⚠注意　・折りたたみロックに無理な力を加えない。変形または破損する場合があります。

## 更にコンパクトに折りたたむ時

❼両手でフレームを閉じて、折りたたみロックを掛ける。

アドバイス
・車体を傾けて行うとロックできないおそれがあります。車体を自立させた状態でロックしてください。

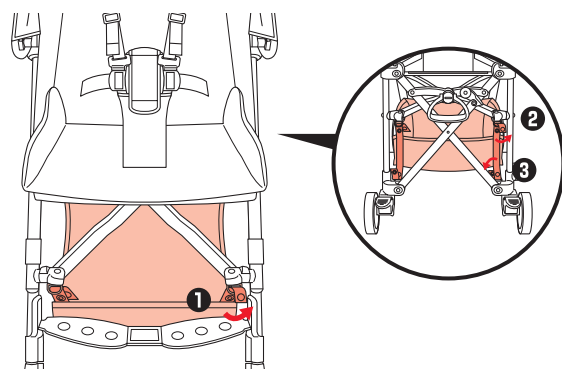
# 縫製品のお手入れ

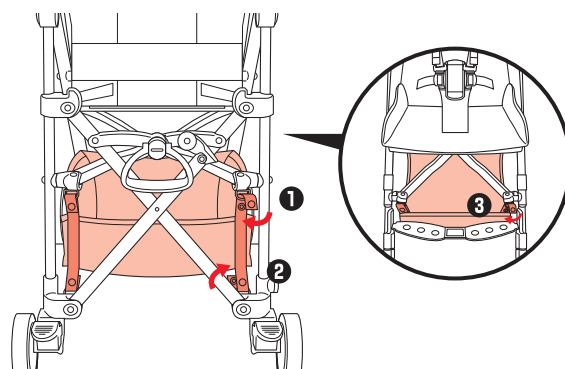
・縫製品が汚れた場合は、取り外して洗浄してください。
・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、お買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

## カゴの取り外し方

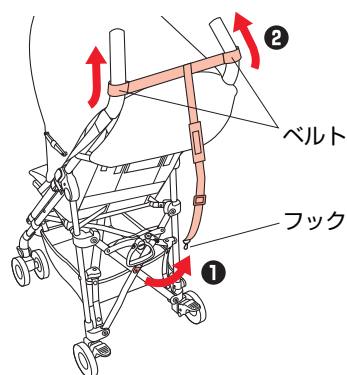
⚠注意　・カゴに荷物を入れたまま取り外さない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。

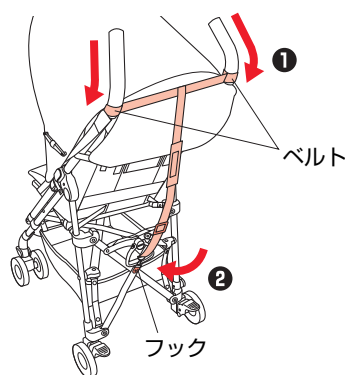
### 取り外し方

❶前部のホック（左右）、❷後部上側のホック（左右）、❸後部下側のホック（左右）を取り外し、ベルトをフックから抜き取る。

### 取り付け方

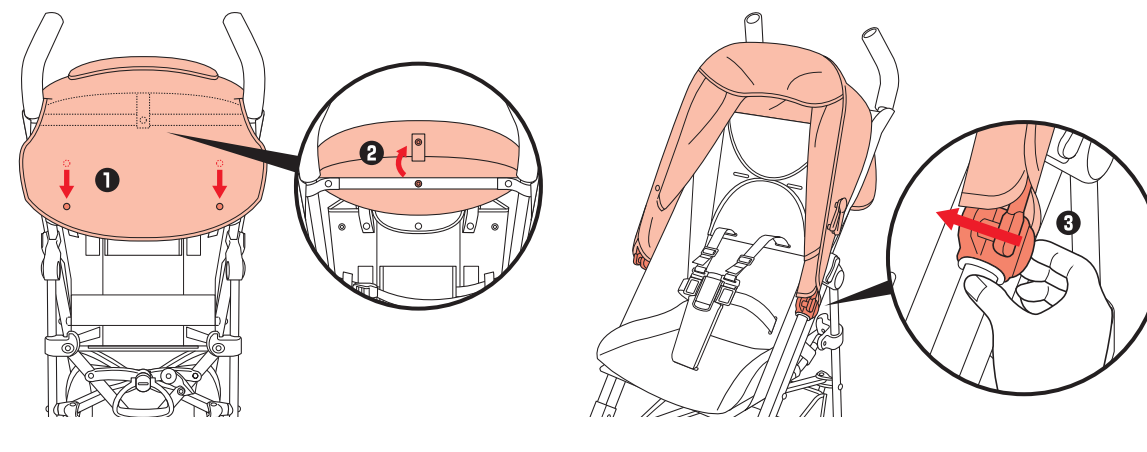
❶後部上側のベルト（左右）、❷後部下側のベルト（左右）、❸前部のベルト（左右）をフックに通し、ホックをとめる。

## ショルダーストラップの取り外し方

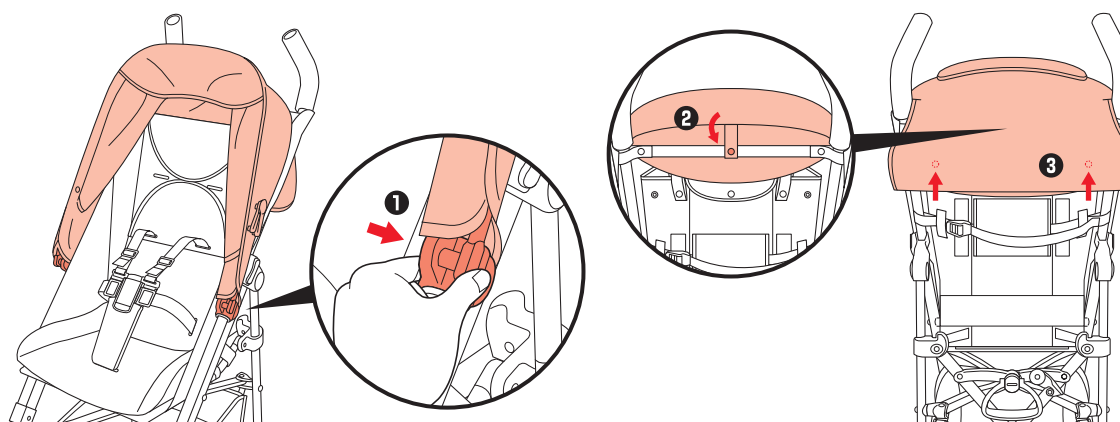
### 取り外し方

❶フックを外す。
❷ベルトをハンドルから抜く。（左右）

### 取り付け方

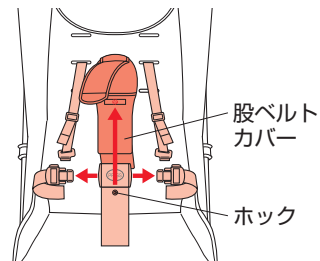
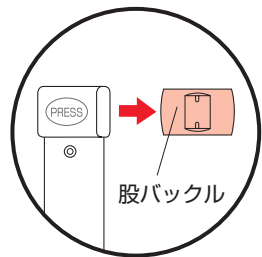
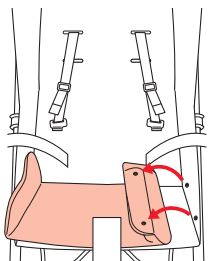
❶ベルトをハンドルに通す。（左右）
❷フックをとめる。

## 日除けの取り外し方

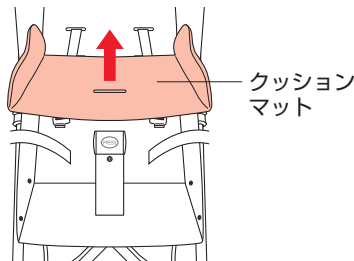
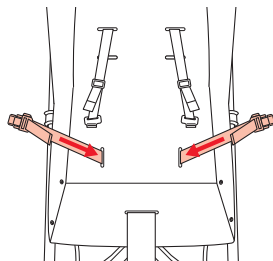
### 取り外し方

❶日除け後部のホックを外す。（左右）❷ハンドルベルトのホックを外す。
❸日除けブラケットを手前に引き、取り外す。（左右）

### 取り付け方

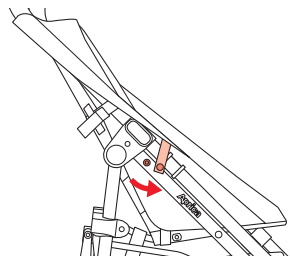
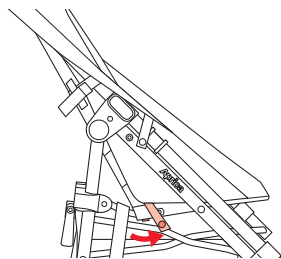
❶日除けブラケットを取り付けブラケットに押し込み、取り付ける。（左右）
❷ハンドルベルトのホックをとめる。❸日除け後部のホックをとめる。（左右）

# 縫製品の取り外し方

・カゴ、ショルダーストラップ、日除けを取り外してから行う。（P17、P18参照）

## 股ベルトカバー、股バックル、クッションマットの取り外し方

❶肩・腰ベルトを外し、股ベルトのホックを外し、カバーを抜き取る。

❷ホックを外し、股バックルを外す。

❸座面のホックを外す。（左右2カ所）

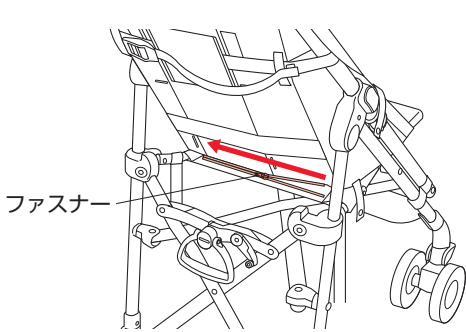
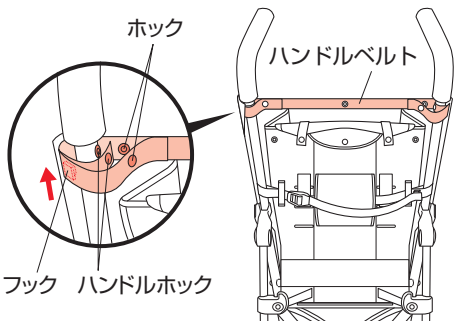
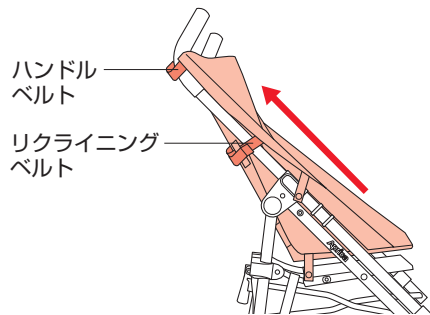
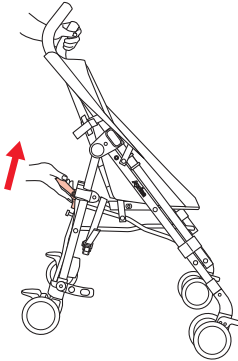
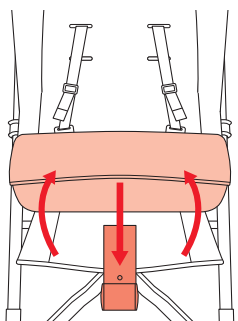
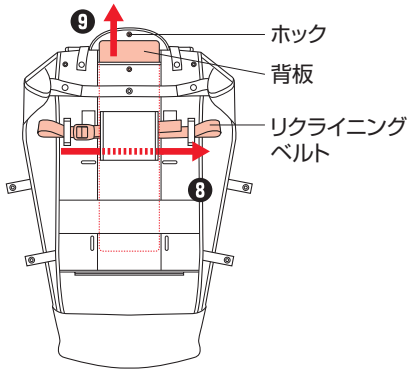
**アドバイス**
・股バックルは大切に保管してください。取り付け時に必要です。

❹クッションマットを取り外す。

❺腰ベルトを座面裏側に抜く。

**⚠注意** ・腰ベルト、股ベルトは取り外しできません。

## シート、リクライニングベルト、背板の取り外し方

❶シート横側のホックを外す。（左右）

❷座面横側のホックを外す。（左右）

❸座面裏側のファスナーを外す。

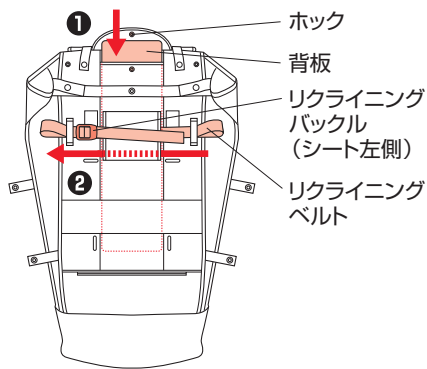
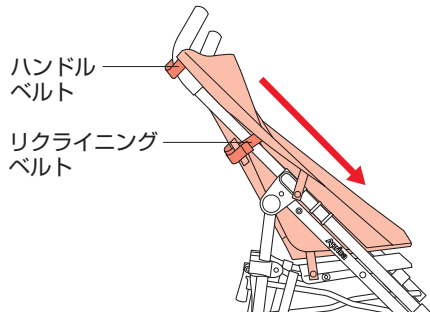
❹車体を少し折りたたむ。

❺ハンドルベルトのホックを外す。（左右）
ハンドルホックを外し、フックを上に抜く。（左右）

❻座面前部のシートをめくり、股ベルトを抜く。

❼ハンドルベルトとリクライニングベルトをハンドルから抜き取り（左右）、シートを取り外す。

❽リクライニングベルトをシートから抜き取る。
❾ホックを外し、背板を抜き取る。

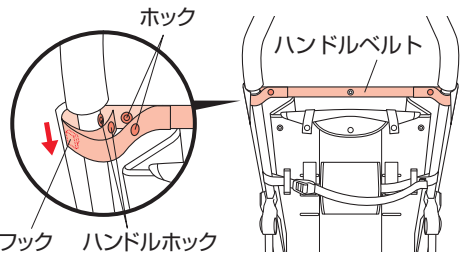
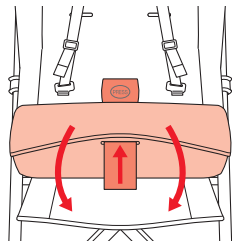
**アドバイス**
・リクライニングベルトは大切に保管してください。
取り付け時に必要です。

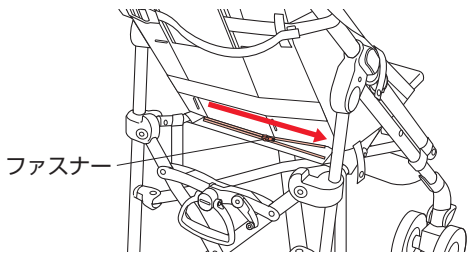
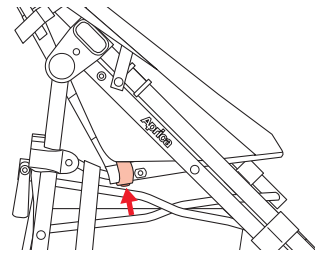
**⚠注意** ・肩ベルトは取り外しできません。

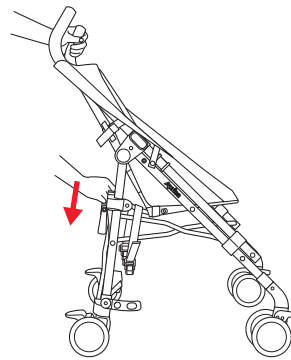
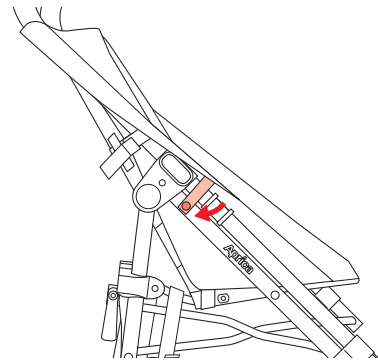
# 縫製品の取り付け方

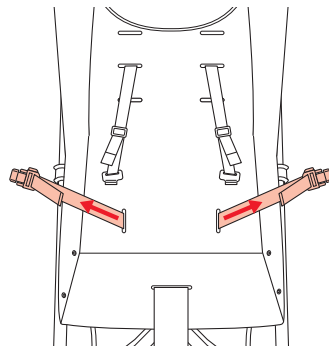
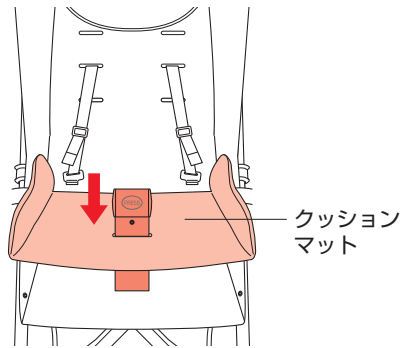
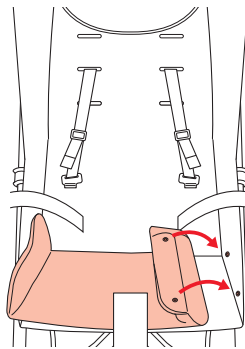
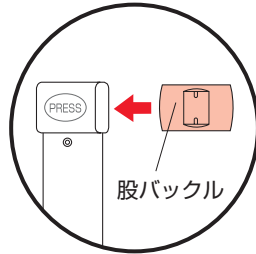
・車体を少し折りたたんでから行う。

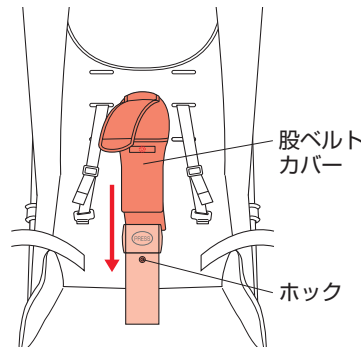
## 背板、リクライニングベルト、シートの取り付け方

❶背板をシートに差し込み、ホックをとめる。
❷リクライニングベルトをシートに取り付ける。

❸リクライニングベルトとハンドルベルトをハンドルに通し（左右）、シートを取り付ける。

・リクライニングベルト取り付け時は、左右をご確認ください。

❹フックを差し込み、ハンドルホックをとめる。（左右）
ハンドルベルトのホックをとめる。（左右）

❺股ベルトを通し、座面前部のシートをかぶせる。

注意　・フック、ハンドルホック、ハンドルベルトのホック（左右）が確実にとまっていることをご確認ください。

❻座面裏側のファスナーをしめる。

❼座面横側のホックをとめる。（左右）

・座面横側のホック（左右）が確実にとまっていることをご確認ください。

❽車体を開く。

❾シート横側のホックをとめる。（左右）

## クッションマット、股バックル、股ベルトカバーの取り付け方

❶腰ベルトをシートに通す。

❷クッションマットに股ベルトを通す。

❸座面のホックをとめる。
（左右2カ所）

❹股バックルのホックを
股ベルトにとめる。

❺股ベルトカバーを股ベルトに
差し込み、ホックをとめる。

# 日常のお手入れ

## 縫製品の洗浄方法

### 〈シート、股ベルトカバー、クッションマットの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。

注意
・背板は洗濯しない。
・縫製品を屋外で干すときは、日陰の平干しにする。

### 〈日除け、腰ベルト、カゴ、ショルダーストラップの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

## 車体のお手入れ

### 〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

注意
・フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。
（故障の原因となります。）
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

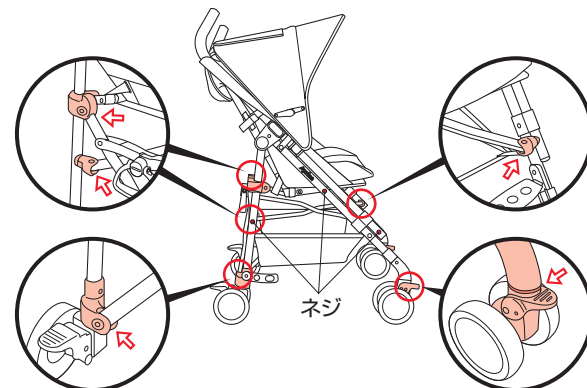
・車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時はお買い求めの販売店又は、当社サービス係までお問い合わせの上、交換してください。（有償）

### 〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

注意
・破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず当社サービス員の点検、修理を受ける。

### 〈注油について〉

・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、１カ所につき2～3滴としてください。

●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。

# 困った時に

### 〈ご使用前に困った時〉

| お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|
| 梱包箱の内容物に不足や間違いがある時は | 販売店または当社サービス係に連絡してください。<br>参照 P25「保証とアフターサービスについて」 |

### 〈ご使用中に困った時〉

| お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|
| キャスターが回転しない時は | キャスターロックを左右共解除してください。<br>参照 P8「キャスター」 |
| | キャスターに潤滑油をさしてください。<br>参照 P23「注油について」 |
| ストッパーがきかない時は | 後輪のストッパーを左右ともロックしてください。<br>参照 P8「ストッパー」 |
| リクライニングが起こせない時は | 起こす時はリクライニングベルトを引いてください。<br>参照 P12「リクライニングの角度調節」 |
| 腰ベルトの取り付けができない時は | 股ベルトの内側にバックルが取り付けてあることを確認してください。<br>参照 P22「股バックルの取り付け方」<br>紛失した場合は販売店または当社サービス係に連絡してください。<br>参照 P25「保証とアフターサービスについて」 |
| 肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は | 肩ベルトを腰ベルトに差し込み、股バックルに差し込んでください。<br>参照 P9「肩・腰ベルトをとめる」 |
| ショルダーストラップの取り付けができない時は | 左右のハンドルに通し、フックをとめてください。<br>参照 P17「ショルダーストラップの取り付け方」 |
| ベビーカーが折りたためない時は | 〈折りたたむ前に〉、〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。<br>参照 P15「ベビーカーの折りたたみ方」 |
| カゴが取り外せない時は | 前部のホック（左右）、後部上下のホック（左右）を取り外してください。<br>参照 P17「カゴの取り外し方」 |
| タイヤが消耗した時は | タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換してください。<br>参照 P23「フレームや車輪のお手入れについて」 |

### 〈再利用する時〉

| お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|
| 前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は | 使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。 |
| クラック（ひび割れ）や大きな傷がある時は | ご使用になれません。 |

・解決しない場合は当社サービス係までご連絡ください。（P25参照）

# 保証とアフターサービスについて

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（P6参照）をご確認のうえお買い上げの販売店または、当社サービス係までご連絡ください。

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

**〈アフターサービスについての連絡先〉**


**アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社**

〈電話連絡先〉
**お客様サポートセンター　TEL 0120ー415ー814**
受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉
〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050


# 保管のしかた

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・夏季の高温になる場所での保管は避けてください。
・荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

# 廃棄方法

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
（地球環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。）



# SGマーク制度について

**SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いいただけます。**

SGマークが表示されたベビーカーは安心してお使いになれますが、消費者の皆さまが正常に使用していた時、製品の欠陥により万一事故が発生し、お子さまが損害を被った場合は、「製品安全協会」がその損害を賠償致します。但しご購入後４年以内です。

賠償についてのご注意
・認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。
・生産物賠償責任保険の保険金は、それぞれ実情をよく調査して、実損を補填する妥当な額をお支払いすることになります。

賠償金の請求について
・傷害を被った消費者（お子さまなどの場合は保護者でもよい）が賠償金を請求する時は、別欄の項目を事故が発生した日から60日以内に下記の協会または、協会が指定する処に届けてください。

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2ー20ー2　ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL　03ー5808ー3303

**〈事故賠償に必要な項目〉**
①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度（医師の証明書）